



失礼します。今回の学校だよりは、HP 上のみで配信いたします。各学級では先生方が背面掲示板等に貼ってくださっています。お読みいただきありがとうございます。

1年生はいきなり輝いています。銀メダルおめでとうございます



はきものをそろえると心もそろ
う心がそろうとはきものもそろ

ぬぐとときにそろえておくと
はくときに心がみだれない

だれかがみだしておいたら
だまってそろえておいてあげよう

そうすればきっと
世界中の人も心もそろうでしょう

円福寺 藤本幸邦氏

これは、1年生の下足室の下足箱の様子です。1年生でここまで整理整頓できている学校は少ないのではないのでしょうか？

私は、今週2日間ほど朝短い時間ですが下足場を観察していました。朝1組の服部良子先生と2組の江崎和彦先生が交互に下足室に登場されました。数名の先生も子どもたちにやさしくあいさつなども含めて笑顔でお声をかけられていました。また、1年生が戸惑っていると、自分の姉妹でも兄弟でも何でもないので「こうするとよ（^-）」と靴箱になおすお手伝いや声掛けをしていました。ご家庭や保・幼等での教育+小学校の職員や先輩児童の声掛け+により1年生本人自らの成長したい・認められたいという無意識・無欲ながら自覚醒の成長心の芽生えなのでしょう。

1年生の先生方がこのように下足場で朝のお迎えや、お声掛けができるのも、6年1組2組3組の上級生の皆さんが朝、1年生の各教室にサポーターとしてふれあいに来てくれているからこそです。（ありがたいことです）

しばらくして、校長室の前のスタジオで、聴力検査のために1年1組さんが服部良子先生とともに現れました。服部良子先生のやさしいお声掛けできれいに上靴が並びました。その後、1年2組さんが登場しました。上靴のかかとを壁にそろえて静かに待つことができましたので記念の写真を撮らせていただきましたのでご紹介いたします。

～入学してきてくれた1年生の靴箱や靴並べをみつめて感じたこと～

藤本先生は、長野県のおぼうさまであられました。今もし生きていたら115歳です。藤本先生は関東の大学をご卒業後、仏門にはいられたかたわら、劇団や児童養護施設を立ち上げられたりお弟子さんたちに引き継がれたりしながら、その施設は7年目をむかえられています。「愛育園」と名付けられた園は児童に自立の力をつける教育的児童養護施設を今もなおめざされています。また、藤本先生が素晴らしいのは宗派を超えて子どものために力を注がれていることです。先生は、日本の子どもさんだけでなく、アジア難民救済事業も行いカンボジアに小学校校舎を寄付されました。藤本先生が99歳でお亡くなりなられた後も、愛育園のお弟子さん（理事長さん）らの力でレイクチェイ小学校とダブル小学校の2校の校舎が10年前につくられました。子ども達や先生方の笑顔あふれる素敵な学校だそうです。もちろん勇気ある行動力もやさしい心も履物もそろっているのではと推測いたします。

P.s 私共、公教育でお仕事をさせていただいている日本の小・中学校の教師も、宗派など関係なく「教育=愛」をお子様にながらせていただいております。上記のこの詩は、本校では先輩教師がラミネートフィルムでこの詩を下足場に掲示してくださっています。さらに、素敵なのは、昨年この記事は載せましたが、姉妹兄弟関係にあります児童クラブ（児童センター）さんの下足場に代々掲示されているということ（が素敵な事実）です。おわりに、飯塚第2中学校の下足室も靴が伝統的に整理整頓され、靴同士が会話をするように並んでいます。2中校区は保護者の方々、地域の方々、住民の皆さんをはじめともに仲良く助け合って関係を築きあげた校区という自負の念を皆様には感じます。私も勢いのある皆さんと一緒に子ども達の成長のために力を注がせてください。これからもどうぞよろしくお願いたします。



初めての学校給食(-) 昨日1年生が給食デビューしました。

1年生にとって昨日は給食デビューの日でした。献立は麻婆豆腐や春雨の中華炒めとごちそうでした。今日もごちそうで小中学校の子どもリクエストナンバー1人気の「カレーライス&フルーツ」でした。先生方、子どもたちが慣れるまで大変ですが、準備や片付けなどどうぞよろしくお願いいたします。☺



食に関しては私が飯塚東小学校6年生担任時に、第18代校長であられました吉田秀一校長先生が「先生！今年子どもたちにとって大切な法律が制定されましたが保健主事としてしていらっしゃいますか？」とおっしゃいましたが不勉強でしたので「校長先生教えてください。」と申しました。「今年（平成18年）、食育基本法、食育推進基本計画が制定され、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校においても積極的に食育に取り組んでいくことが重要なのですよ。」私：学校で食を大切にするにはどうしたらいいのですか？吉田校長先生は次のようにおっしゃいました。「まずは、給食を楽しみにして来る子どもを育てなさい。献立表を見てくる子どもになるということは、学校が好きということであり、そう思うということは、学力よりも大切な**自制心、やり抜く力、生きる力とか勇気とかの非認知能力の育成**につながってくるものだよ。」私は縁あって再度この学校にこらせていただいて4年目となり、ようやく子ども達から「今日の給食何ですか？」の質問から、「今日はカレーが楽しみです。」とか、「今日ミートボールですな〜。」とか食に関心を持つ子が出てきました。やり抜く力（グリッド）がついてきたという手ごたえを感じています。・・・ですから・・・

P.s. 毎週水曜日7:10に学校とつながりの深い東交流センターで「ひがし食堂」として運営・開催し、年間3000食～5000食もの朝食を準備してくださっている飯塚東まちづくり協議会の皆様には「水曜日の朝食を楽しみに学校にきている子ども達のためにありがとうございます。」と心から感謝申し上げます。（..）